

# 秋田県商工会地域景況判断ボード

平成25年4月～6月期

## 【全体】DI値が改善、持ち直しの動きがみられる

中央部及び南部地域は横ばい基調であったものの、北部地域の改善が数値を大きく押し上げ、業況DI値が前回調査より4.1ポイント上昇した。業種別にみると、唯一小売業が悪化し依然として低い水準となっているが、その他の業種では改善しており、特に公共投資や消費税増税に伴う駆け込み需要を期待する建設業が大幅な改善となった。



## 【北部】



- 業況DI値は前回調査より11.4ポイント上昇し、3地区で最も改善幅が大きかった。全項目のDI値がマイナスで推移しているが、資金繰り以外は改善している。
- 来期の売上額に関しては、改善すると予想していた企業が24.5%と他項目と比べ高い。

## 【中央部】



- 業況DI値は前回調査より0.9ポイント上昇したが、3地区で最も低い水準となっている。また、全項目が悪化しており、特に採算については悪化と回答した企業が全体の41.1%と高い割合を占めている。
- 来期も全DI値がマイナスであり、3地区を比較しても低い水準となっている。

## 【南部】



- 業況DI値は前回調査より1ポイント低下した。全項目がマイナスであるものの、資金繰りは緩やかな改善傾向がみられる。
- 来期も全DI値がマイナスであるものの、改善すると予想した企業が多く、特に業況・売上についてはその傾向が強い。

## 【製造業】「厳しい状況続くも改善傾向」



### ■今期の業況

DI値は前回調査より6.7ポイント上昇した。需要の停滞が問題点としている企業が多く、利益・売上の確保が難しくなっている。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

全項目のDI値が改善傾向にあり、業況に関しては前期調査と比較し17.5ポイント上昇した。

### ■設備投資

今期実施件数は5件あり、すべて生産設備に対する投資である。また、来期計画に関しては倍となる10件の受注が見込まれている。



## 【建設業】「駆け込み需要に高まる期待感」



### ■今期の業況

業況以外の3項目は悪化したものの、DI値は前回調査より8.3ポイント上昇した。消費税増税に伴い、駆け込み需要を期待する企業が多い。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

全項目のDI値が改善傾向にある。

### ■設備投資

今期実施件数は12件あり、そのうち7件は車両運搬具に対する投資である。しかし、来期計画件数は4件と低調となっている。



## 【小売業】「厳しい採算確保」



### ■今期の業況 (1年前との比較)

DI値は前回調査より0.1ポイント低下した。特に採算は回答企業全てが悪化と回答しており、依然として厳しい状況がうかがえる。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

全項目のDI値が改善傾向にある。今後、消費税の価格転嫁がキーポイントになると予想される。

### ■設備投資

今期実施件数は9件あり、小売業回答企業の1割を占める。来期の計画件数は10件あり、横ばいの状況が続いている。



## 【サービス業】「売上等、依然厳しい状況」



### ■今期の業況 (1年前との比較)

DI値は前回調査より2.6ポイント上昇した。円安による仕入単価等の上昇に伴い収益の圧迫を懸念している企業も少なくないが、今年開催される秋田DCへの期待感も高い。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

全項目のDI値が改善傾向にある。

### ■設備投資

今期実施件数は18件あり、そのうち建物・店舗に対する投資が7件ある。来期計画件数は12件で、サービス業回答企業の1割を占める。



## 北部トピックス

- かつの  
9月の電気料金値上げにあたり、地元企業を支援する省電力化費用の補助金を創設した。
- 白神八峰  
秋田DCに向け、食の豊かさを集中的にPRしている。また、あわびの養殖による増産で、白神あわびを活用したメニューの開発により一層のPR効果を図りたい。

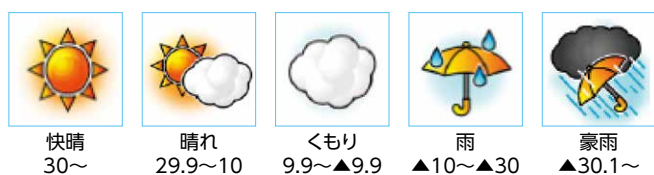
## 中央部トピックス

- 湖東3町  
地域内交通(バス路線)の廃止に伴い、乗合タクシーに変更となった。住民からは小回りが利き乗りやすいと好評を得ており、高齢者及び買い物弱者の交通手段として利用されている。
- 河辺雄和  
大雪被害の修繕工事や、消費税引き上げ前の駆け込み需要、さらには県・市等の住宅リフォーム補助金の活用等から、住宅関連業者の多くは活気を取り戻してきている。

## 南部トピックス

- 美郷町  
円安による原油価格の上昇などで、アスファルト代金が高騰し道路工事が原価割れに近い状況になっている。また運輸業にも影響が出始めている。
- よこて市  
6月市議会において、6次産業化の拠点施設を目指し雄物川地域に「多機能型直売所」建設構想が提案された。レストランが集客と販売の核となり、横手市の食と農を中心に県内の食材を活用する計画である。

## 【天気図】 前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI 値」とは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

## 【調査要領】

- 調査対象 (1)対象地区:全21 商工会地区 (2)対象企業数:294 企業 (3)回答企業数:294 企業 (回収率:100%)
- 調査対象時期 平成25年4月～6月期を対象とし、調査時点は平成25年6月1日とした。
- 調査方法 (1)商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2)調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。

### 4. 調査対象企業数内訳

業 種	対象企業数			
	北 部	中 央 部	南 部	合 計
製 造 業	21	18	23	62
建 設 業	18	13	17	48
小 売 業	27	30	24	81
サ ー ビ ス 業	40	29	34	103
合 計	106	90	98	294

### 5. その他

- (1)前年同期とは平成24年4月～6月期、前期とは平成25年1月～3月期、来期とは平成25年7月～9月期のことをいう。
- (2)本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況である。